

授業概要

公務員学科

| | | |
|---------------------|---|-----|
| 科目名 | 公務員試験対策 | |
| 担当教員 | 岩根英二、柳下典之、桜井久史、西脇夏耶 | |
| 対象学生 | 公務員科1年 | |
| 曜日・時間 | 704コマ(633.6時間) | |
| 授業形態 | 演習(50%)、グループ学習(30%)、講義(20%) | |
| 科目の概要 | <ul style="list-style-type: none"> ・公務員試験教養試験の模擬問題演習を実施する。 ・各科目で出題内容に関する解説を実施する。 | |
| 授業の到達目標 | <ul style="list-style-type: none"> ・公務員試験教養試験で60%以上の得点率を目指す。 ・適性検査で60%以上の得点率を目指す。 ・論作文試験で課題に対する作文を書ける。 | |
| 授業方法・学習上注意 | <ul style="list-style-type: none"> ・模擬試験の解説でわからない問題をわかるようにする。 ・試験時間を意識して解く。 | |
| 成績評価の方法と基準 | 模試累計50%、授業態度20%、課題提出物30% | |
| 使用テキスト | TAC公務員模擬試験、適性検査、公務員過去問 | |
| 教材・参考文献・図書等 | | |
| 授業計画(内容) | | コマ数 |
| 模擬試験演習(地方公務員向け全15回) | | 60 |
| 模擬試験演習(国家公務員向け全10回) | | 40 |
| 全国統一模擬試験(全4回) | | 16 |
| 公務員過去問題 | | 68 |
| 模擬試験解説(文章理解) | | 40 |
| 模擬試験解説(判断推理) | | 40 |
| 模擬試験解説(数的推理) | | 40 |
| 模擬試験解説(資料解釈) | | 40 |
| 模擬試験解説(自然科学) | | 40 |
| 模擬試験解説(社会科学) | | 40 |
| 模擬試験解説(人文科学) | | 40 |
| 適性検査 | | 80 |
| 論作文対策 | | 80 |
| 自己分析 | | 80 |
| | | |
| | 合計 | 704 |

授業概要

公務員学科

| | | |
|--------------------------------|--|------|
| 科目名 | 自然科学 | |
| 担当教員 | 西脇夏耶 | |
| 対象学生 | 公務員科1年 | |
| 曜日・時間 | 22コマ 19.8時間 | |
| 授業形態 | 講義(50%)、グループ学習(50%) | |
| 科目の概要 | <ul style="list-style-type: none"> ・自然科学の問題を解くための解法を身に付ける。 ・基礎問題のみならず応用問題も解くことが出来る。 | |
| 授業の到達目標 | <ul style="list-style-type: none"> ・公務員試験に出題される自然科学の出題傾向と、正答率を上げるための回答の手順がわかるようになる。 ・公務員試験に出題される自然科学の範囲のうち、60%の正答率が達成できるようになる。 | |
| 授業方法・学習上注意 | <ul style="list-style-type: none"> ・自然科学 I の単位を修得済みの者、または同等の学力を有する者が望ましい。 ・公務員として求められる資質として、積極性と協調性が必要であることを理解しなければならない。 | |
| 成績評価の方法と基準 | <p>考查点50%、確認テスト30%、授業態度等20%</p> | |
| 使用テキスト | <ul style="list-style-type: none"> ・教員の準備する講義資料 | |
| 教材・参考文献・図書等 | <ul style="list-style-type: none"> ・公務員試験の過去問 | |
| 授業計画(内容) | | コマ数 |
| 力の合成・分解、物質の構造、生体のつくり、地球の内部 | | 2 |
| 滑車・てんびん・ばね・浮力、物質量①、細胞分裂・生殖、地震 | | 2 |
| 物体の運動①、物質量②、遺伝、岩石・火山 | | 2 |
| 物体の運動②、酸と塩酸、酵素、大気構成 | | 2 |
| 力学的エネルギー・熱量①、酸化・還元、同化、天気 | | 2 |
| 力学的エネルギー・熱量②、周期表、異化、地球の運動 | | 2 |
| 電気物理学①、気体、刺激と反応、太陽・月 | | 2 |
| 電気物理学②、気体の性質・溶解度、恒常性と調節、太陽系の天体 | | 2 |
| 波動、放射線、金属の性質、動植物の反応、生態系、 | | 2 |
| 総合演習 | | 2 |
| 終末考査 | | 2 |
| | | |
| | 合計 | 22 |
| | 授業時数 | 19.8 |

授業概要

公務員学科

| | | |
|-----------------------|---|------|
| 科目名 | 社会科学 | |
| 担当教員 | 柳下典之 | |
| 対象学生 | 公務員科1年 | |
| 曜日・時間 | 22コマ 19.8時間 | |
| 授業形態 | 演習(50%)、グループ学習(30%)、講義(20%) | |
| 科目の概要 | <ul style="list-style-type: none"> ・社会科学の基本知識を基に、より深い理解と定着を促す。 ・演習中心の授業で、知識のアウトプットの訓練と、より高度な知識のインプットを図る。 | |
| 授業の到達目標 | <ul style="list-style-type: none"> ・公務員試験に出題される社会科学の範囲のうち、高難度の問題に対しても高い確率で正答できるようになる。 ・実践的で高度な知識を自分で調べる力を身につける。 | |
| 授業方法・学習上注意 | <ul style="list-style-type: none"> ・社会科学Ⅰの単位を修得済みの者、または同等の学力を有する者が望ましい。 ・集団で1つの結論を出すことと、わからないことを自ら調べる能力は、公務員に限らず社会で必要な能力であることを理解して、授業に臨むこと。 | |
| 成績評価の方法と基準 | <p>考查点50%、授業態度及び確認テスト30%、課題等の提出点20%</p> | |
| 使用テキスト | <p>教員の準備する講義資料</p> | |
| 教材・参考文献・図書等 | <p>公務員試験の過去問</p> | |
| 授業計画(内容) | | コマ数 |
| 民主政治 各国の政治制度 市場と価格 労働 | | 2 |
| 日本国憲法 企業 景気と物価 現代社会 | | 2 |
| 基本的人権 金融① 環境問題 | | 2 |
| 三権分立① 金融② 財政① 古代の哲学 | | 2 |
| 三権分立② 国会 財政② 近代哲学① | | 2 |
| 内閣 貿易と為替 国際経済 近代哲学② | | 2 |
| 裁判所 地方自治 国民所得 東洋思想① | | 2 |
| 選挙制度 日本経済史 経済学者 東洋思想② | | 2 |
| 国際政治 青年期 | | 2 |
| 社会科学のまとめ① | | 2 |
| 社会科学のまとめ② | | 2 |
| | | |
| | 合計 | 22 |
| | 授業時数 | 19.8 |

授業概要

公務員学科

| | | |
|------------------------------------|---|------|
| 科目名 | 人文科学 | |
| 担当教員 | 柳下典之 | |
| 対象学生 | 公務員科1年 | |
| 曜日・時間 | 22コマ 19.8時間 | |
| 授業形態 | 演習(50%)、グループ学習(30%)、講義(20%) | |
| 科目の概要 | <ul style="list-style-type: none"> ・人文科学の基本知識を基に、より深い理解と定着を促す。 ・演習中心の授業で、知識のアウトプットの訓練と、より高度な知識のインプットを図る。 | |
| 授業の到達目標 | <ul style="list-style-type: none"> ・公務員試験に出題される人文科学の範囲のうち、高難度の問題に対しても高い確率で正答できるようになる。 ・実践的で高度な知識を自分で調べる力を身につける。 | |
| 授業方法・学習上注意 | <ul style="list-style-type: none"> ・人文科学 I の単位を修得済みの者、または同等の学力を有する者が望ましい。 ・集団で1つの結論を出すことと、わからないことを自ら調べる能力は、公務員に限らず社会で必要な能力であることを理解して、授業に臨むこと。 | |
| 成績評価の方法と基準 | <p>考查点50%、授業態度及び確認テスト30%、課題等の提出点20%</p> | |
| 使用テキスト | <p>教員の準備する講義資料</p> | |
| 教材・参考文献・図書等 | <p>公務員試験の過去問</p> | |
| 授業計画(内容) | | コマ数 |
| 日本の古代 古代ギリシアとローマ 気候と土壌 | | 2 |
| 武士の台頭 中世ヨーロッパ 地形 | | 2 |
| 江戸初期 近世ヨーロッパ 地図と時差 | | 2 |
| 江戸後期 市民革命 農業 | | 2 |
| 明治初期 産業革命と帝国主義 産業と貿易 | | 2 |
| 近代化と戦争 二つの世界大戦 アジアとアフリカ | | 2 |
| 戦後の日本 第二次世界大戦後の世界 ヨーロッパとアメリカとオセアニア | | 2 |
| 日本文化史 中国史 民族・その他 | | 2 |
| 日本通史 中国の近現代 芸術 | | 2 |
| 人文科学のまとめ① | | 2 |
| 人文科学のまとめ② | | 2 |
| | | |
| | 合計 | 22 |
| | 授業時数 | 19.8 |

授業概要

公務員学科

| | | |
|-------------|---|------|
| 科目名 | 判断推理・空間把握Ⅱ | |
| 担当教員 | 西脇夏耶 | |
| 対象学生 | 公務員科2年 | |
| 曜日・時間 | 22コマ 19.8時間 | |
| 授業形態 | 講義(50%)、グループ学習(50%) | |
| 科目の概要 | ・問題演習中心とする。 | |
| 授業の到達目標 | ・公務員試験内の判断推理の問題に70%以上正答することを目指し、問題演習を通じて理解を深める。 | |
| 授業方法・学習上注意 | ・本番のように集中し、早く正確に解答できるよう意識すること。 | |
| 成績評価の方法と基準 | 考査点50%、確認テスト30%、課題提出20% | |
| 使用テキスト | ・教員の用意する授業資料 | |
| 教材・参考文献・図書等 | ・公務員試験過去問題 | |
| 授業計画(内容) | | コマ数 |
| 命題・論理 | | 2 |
| 嘘つき問題 | | 2 |
| 対応関係 | | 2 |
| 順序関係 | | 2 |
| 試合・勝敗 | | 2 |
| 位置・方位 | | 2 |
| 手順 | | 2 |
| 平面図形 | | 2 |
| 展開図 | | 2 |
| 空間図形 | | 2 |
| 終末考査 | | 2 |
| | 合計 | 22 |
| | 授業時数 | 19.8 |

授業概要

公務員学科

| | | |
|-------------|--|------|
| 科目名 | 文章理解 | |
| 担当教員 | 西脇夏耶 | |
| 対象学生 | 公務員科1年 | |
| 曜日・時間 | 22コマ 19.8時間 | |
| 授業形態 | 講義(50%)、グループ学習(50%) | |
| 科目の概要 | <ul style="list-style-type: none"> ・文章理解の問題を解くための解法を身に付ける。 ・基礎問題のみならず応用問題も解くことができる。 | |
| 授業の到達目標 | <ul style="list-style-type: none"> ・公務員試験に出題される文章理解の出題傾向と、正答率を上げるための回答の手順がわかるようになる。 ・公務員試験に出題される文章理解の範囲のうち、60%の正答率が達成できるようになる。 | |
| 授業方法・学習上注意 | <ul style="list-style-type: none"> ・文章理解 I の単位を修得済みの者、または同等の学力を有する者が望ましい。 ・公務員として求められる資質として、積極性と協調性が必要であることを理解しなければならない。 | |
| 成績評価の方法と基準 | <p>考查点50%、確認テスト30%、授業態度等20%</p> | |
| 使用テキスト | <ul style="list-style-type: none"> ・教員の準備する講義資料 | |
| 教材・参考文献・図書等 | <ul style="list-style-type: none"> ・公務員試験の過去問 | |
| 授業計画(内容) | | コマ数 |
| 問題演習 (内容把握) | | 4 |
| 問題演習 (文章整序) | | 4 |
| 問題演習 (空欄補充) | | 4 |
| 問題演習 (古文) | | 2 |
| 問題演習 (英文法) | | 2 |
| 問題演習 (英文) | | 4 |
| 終末考査 | | 2 |
| | 合計 | 22 |
| | 授業時数 | 19.8 |

授業概要

公務員学科

| | | |
|-----------------|---|-------|
| 科目名 | 面接指導 | |
| 担当教員 | 岩根英二、柳下典之、桜井久史、西脇夏耶 | |
| 対象学生 | 公務員科1年 | |
| 曜日・時間 | 178コマ(160.2時間) | |
| 授業形態 | 講義(10%)、グループ学習(10%)、個別指導(80%) | |
| 科目の概要 | <ul style="list-style-type: none"> ・公務員試験の面接試験対策を実施する。 ・志望動機ややりたい仕事・自己分析をし、模擬面接を実施する。 | |
| 授業の到達目標 | <ul style="list-style-type: none"> ・公務員試験の採用面接試験を合格できる。 ・志望動機およびその他の質問に受け答えできる。 ・自己PRや自分の意見を伝えられる。 | |
| 授業方法・学習上注意 | <ul style="list-style-type: none"> ・受験先研究と自己分析を積極的に行う。 ・髪型や服装などの身だしなみに気を付ける。 ・積極的に意見交換等を行うこと。 | |
| 成績評価の方法と基準 | 模擬面接50%、授業態度20%、課題提出物30% | |
| 使用テキスト | オリジナル面接対策ノート | |
| 教材・参考文献・図書等 | 初級公務員面接・作文の完全マスター | |
| 授業計画(内容) | | コマ数 |
| 自己分析 自分を振り返る | | 14 |
| 自己分析 長所・短所など | | 14 |
| 自己分析 自己PR | | 14 |
| 自己分析 志望のきっかけなど | | 14 |
| 受験先研究 受験先の取り組み | | 14 |
| 受験先研究 志望動機のとらえ | | 14 |
| 入退室指導 | | 10 |
| 模擬面接1 公務員関連の質問 | | 16 |
| 模擬面接2 自己PR関連の質問 | | 16 |
| 模擬面接3 職業観関連の質問 | | 16 |
| 模擬面接4 時事関連の質問 | | 16 |
| 模擬面接5 総仕上げ | | 20 |
| | 合計 | 178 |
| | 授業時数 | 160.2 |

授業概要

公務員学科

| | | |
|----------------|--|------|
| 科目名 | 各種税法 | |
| 担当教員 | 西脇夏耶 | |
| 対象学生 | 公務員科1年 | |
| 曜日・時間 | 36コマ 32.4時間 | |
| 授業形態 | 講義(50%)・演習(50%) | |
| 科目の概要 | ・税務処理に関する知識を学ぶ。 | |
| 授業の到達目標 | ・所得税法3級を取得する。 ・所得、控除の概念を理解し、申告や納付の手続きを理解する。 | |
| 授業方法・授業上注意 | ・電卓を用意しておくこと。 | |
| 成績評価の方法と基準 | 考查点50%、確認テスト点30%、課題提出20% | |
| 使用テキスト | 所得税法テキスト（英光社） | |
| 教材・参考文献・図書等 | 過去問題 | |
| 授業計画(内容) | | コマ数 |
| 所得税の概要 | | 4 |
| 所得税の内容とその計算方法 | | 8 |
| 課税標準 | | 4 |
| 所得控除と課税総所得金額 | | 4 |
| 所得税額の計算 | | 4 |
| 所得税の申告・納付等の手続き | | 4 |
| 復興特別所得税 | | 2 |
| 問題演習 | | 6 |
| | | |
| | 合計 | 36 |
| | 授業時数 | 32.4 |

授業概要

公務員学科

| | | |
|--------------------|--------------------------------------|------|
| 科目名 | 電卓 | |
| 担当教員 | 西脇夏耶 | |
| 対象学生 | 公務員科1年 | |
| 曜日・時間 | 18コマ 16.2時間 | |
| 授業形態 | 演習(80%)・講義(20%) | |
| 科目の概要 | ・電卓の使い方を学ぶ。 | |
| 授業の到達目標 | ・電卓計算検定3級を取得する。 | |
| 授業方法・授業上注意 | ・計算機の使い方の習得、制限時間内で迅速かつ正確に計算できるようにする。 | |
| 成績評価の方法と基準 | 考查点50%、確認テスト点30%、課題提出20% | |
| 使用テキスト | 電卓計算3級 直前模試 (英光社) | |
| 教材・参考文献・図書等 | | |
| 授業計画(内容) | | コマ数 |
| 電卓検定の試験概要説明、電卓の使い方 | | 2 |
| 模擬試験(第1回模試) | | 2 |
| 模擬試験(第2回模試) | | 2 |
| 模擬試験(第3回模試) | | 2 |
| 模擬試験(第4、5回模試) | | 2 |
| 模擬試験(第6、7回模試) | | 2 |
| 模擬試験(第8、9回模試) | | 2 |
| 過去問題 | | 2 |
| 終末考査 | | 2 |
| | | |
| | 合計 | 18 |
| | 授業時数 | 16.2 |

授業概要

公務員学科

| | | |
|--|---|------|
| 科目名 | 秘書 | |
| 担当教員 | 柳下典之 | |
| 対象学生 | 公務員科1年 | |
| 曜日・時間 | 18コマ 16.2時間 | |
| 授業形態 | 演習(50%)、グループ学習(30%)、講義(20%) | |
| 科目の概要 | <ul style="list-style-type: none"> ・秘書検定3級の範囲のうち、問題を解くために必要な基礎となる重要事項を学習する。 ・上記で学んだ重要事項を使って、実際の検定問題が解けるようになる。 ・社会人になった後で、この授業で学んだことをいかして、マナーを守った行動をとれるようになる。 | |
| 授業の到達目標 | <ul style="list-style-type: none"> ・秘書検定3級に合格する。 ・学生生活中に教員に対して、マナーを守った接し方ができるようになる。 | |
| 授業方法・学習上注意 | <ul style="list-style-type: none"> ・毎回の授業には、予習と復習の課題が用意されているので、課題の提出を怠らないこと。 ・公務員として求められる資質として、ルールを守った行動が求められることを意識して、実社会を意識しながら授業に臨むこと。 | |
| 成績評価の方法と基準 | <p>考查点50%、授業態度及び確認テスト30%、課題等の提出点20%</p> | |
| 使用テキスト | <ul style="list-style-type: none"> ・秘書検定パーフェクトマスター3級 実務技能検定協会編 早稲田教育出版 ・教員の準備する講義資料 | |
| 教材・参考文献・図書等 | <p>ビジネス文書検定3級の過去問</p> | |
| 授業計画(内容) | | コマ数 |
| 必要とされる資質 (心構え・能力・守秘義務) | | 2 |
| 職務知識 (機能と役割・職務) | | 2 |
| 一般知識 (基礎知識・企業活動・社会常識) | | 2 |
| マナー・接遇 (話し方・聞き方・敬語・電話・来客・交際業務) | | 4 |
| 技能 (秘書の役割・ビジネス文書・文書の取り扱い・資料管理・日程管理・環境整備) | | 2 |
| 過去問演習 | | 6 |
| | 合計 | 18 |
| | 授業時数 | 16.2 |

授業概要

公務員学科

| | | |
|-------------|---|------|
| 科目名 | 公務員研究 | |
| 担当教員 | 担当教員:西脇夏耶 外部講師①:長岡市役所 人事・採用担当者 様 外部講師②:新潟県警 人事・採用担当者 様 外部講師③:新潟県職員 人事・採用担当者 様 外部講師④:長岡消防所 人事・採用担当者 様 外部講師⑤:自衛隊 長岡出張所 人事・採用担当者 様 外部講師⑥:三条市 人事・採用担当者 様 外部講師⑦:上越市役所 人事・採用担当者 様 外部講師⑧:燕市役所 人事・採用担当者 様 | 他 |
| 実務経験 | 外部講師①:長岡市役所 人事・採用担当者 様 外部講師②:新潟県警 人事・採用担当者 様 外部講師③:新潟県職員 人事・採用担当者 様 外部講師④:長岡消防所 人事・採用担当者 様 外部講師⑤:自衛隊 長岡出張所 人事・採用担当者 様 外部講師⑥:三条市 人事・採用担当者 様 外部講師⑦:上越市役所 人事・採用担当者 様 外部講師⑧:燕市役所 人事・採用担当者 様 | 他 |
| 対象学生 | 公務員科1年 | |
| 曜日・時間 | 52コマ 46.8時間 | |
| 授業形態 | 講義(50%)、課題研究・発表(30%)、グループ学習(20%) | |
| 科目の概要 | ・公務員試験を受験するための、職種に対する知識と理解を深める。 ・面接試験を受験する際に、PRできる能力を身に付ける。 | |
| 授業の到達目標 | ・受験先を確定させ、志望動機を完成させる。 ・面接試験での自己PRを完成させる。 | |
| 授業方法・授業上注意 | ・外部講師による講義があるため、失礼のないよう態度と身だしなみに注意する。 ・自ら進んで質問や研究を行う積極性が必要である。 | |
| 成績評価の方法と基準 | レポート50%、課題提出30%、授業態度20% | |
| 使用テキスト | ・教員および外部講師の準備する講義資料 ・オリジナル面接対策ノート | |
| 教材・参考文献・図書等 | 実際の公務員試験の過去問 | |
| 授業計画(内容) | | コマ数 |
| 外部講師による講義 | (業務説明およびレポート) | 24 |
| 受験先研究 | (受験先研究およびプレゼンテーション) | 20 |
| 行政視察 | (業務説明およびレポート) | 8 |
| | | |
| | 合計 | 52 |
| | 授業時数 | 46.8 |

授業概要

公務員学科

| | | |
|---------------------------------|---|------|
| 科目名 | 数的推理・数学 | |
| 担当教員 | 岩根英二 | |
| 実務経験 | 民間の学習塾にて小学6年生から中学3年生における算数および数学の講師を担当し、文字式の計算や方程式、不等式、1次・2次関数、三角形や四角形など図形の性質等の多くの知識や考え方の授業を経験。 | |
| 対象学生 | 公務員科1年 | |
| 曜日・時間 | 22コマ(19.8時間) | |
| 授業形態 | 講義(50%)、グループ学習(50%) | |
| 科目の概要 | <ul style="list-style-type: none"> 文章問題、図形問題、場合の数問題を解くための解法を身に付ける。 数式問題、関数問題などを解くための解法を身に付ける。 | |
| 授業の到達目標 | <ul style="list-style-type: none"> 公務員試験で数的推理、数学を合わせて5問中3問正解を目指す。 問題に対し論理的な思考ができ、相手にわかりやすく説明が出来る。 | |
| 授業方法・学習上注意 | <ul style="list-style-type: none"> 各自が担当する問題の解説をクラスの前で発表する。 発表中は他人と無駄話や他の作業をしないで発表内容を聞くこと。 | |
| 成績評価の方法と基準 | 期末考査50%、確認テスト20%、授業態度等15%、提出物等15% | |
| 使用テキスト | 公務員試験過去問徹底分析絶対合格シリーズ数的推理・資料解釈 | |
| 教材・参考文献・図書等 | | |
| 授業計画(内容) | | コマ数 |
| 第1章 問題演習、発表準備 | | 2 |
| 6連立方程式、7不定方程式 | | 2 |
| 14ニュートン算、15仕事算 | | 2 |
| 第2章 18約数・倍数 | | 2 |
| 22数列・規則 | | 2 |
| 第3章 24場合の数(数え上げと順列) | | 2 |
| 25場合の数(順列と組合せ) | | 2 |
| 図形分野 1三角形と四角形 | | 2 |
| 3面積(三角形)、4面積(円・扇形) | | 2 |
| 6立体(体積・表面積・展開図)、7立体(切断・回転体・その他) | | 2 |
| まとめ | | 2 |
| | 合計 | 22 |
| | 授業時数 | 19.8 |

授業概要

公務員学科

| | | |
|--------------------------------|---|------|
| 科目名 | PowerPoint | |
| 担当教員 | 桜井 久史 | |
| 実務経験 | 民間のソフト開発会社で、証券会社のオンラインシステム開発と物流輸送のオンラインシステム開発に従事した。 | |
| 対象学生 | 公務員科1年 | |
| 曜日・時間 | 36コマ 32.4時間 | |
| 授業形態 | コンピュータを使用した実技・演習 | |
| 科目の概要 | ・Windowsベースのコンピュータ操作のスキル向上 | |
| 授業の到達目標 | ・Windowsベースのコンピュータ操作を習得する。 ・PowerPointの基本的な機能と操作を習得する。 | |
| 授業方法・学習上注意 | ・講義形式により機能や基本的な操作手順を確認する。 ・実技や演習を通して操作方法や手法を習得する。 ・積極的にコンピュータを利用し、学習、進路研究、日々の生活でのツールとする。 | |
| 成績評価の方法と基準 | 終末考査50%、課題提出40%、授業態度等10% | |
| 使用テキスト | 実教出版 30時間でマスター プレゼンテーション+PowerPoint2016 (ISBN 978-4-407-34028-0 950円+税) | |
| 教材・参考文献・図書等 | 実教出版 30時間でマスター Word2016 (ISBN 978-4-407-34020-4 950円+税) 実教出版 30時間でマスター Excel2016 (ISBN 978-4-407-34021-1 950円+税) 実教出版 30時間でマスター Office2016 (ISBN 978-4-407-34018-1 11,000円+税) | |
| 授業計画(内容) | | コマ数 |
| <プレゼンテーションとは> | | 4 |
| <PowerPointを使ったプレゼンテーション資料の作成> | | |
| ・PowerPointの基本操作 | | 6 |
| ・プレゼンテーション資料をつくってみよう | | 6 |
| ・プレゼンテーション資料を印刷してみよう | | 4 |
| <プレゼンテーションのテクニック> | | |
| ・プレゼンテーション資料をブラッシュアップ | | 4 |
| ・グラフや図形の挿入 | | 2 |
| ・プレゼンテーション本番に向けて | | 2 |
| <プレゼンテーションの実施と反省> | | |
| ・PowerPoint総合演習 | | 8 |
| | | |
| | 合計 | 36 |
| | 授業時数 | 32.4 |

授業概要

公務員学科

| | | |
|---------------------------------------|---|------|
| 科目名 | Word & Excel | |
| 担当教員 | 桜井 久史 | |
| 実務経験 | 民間のソフト開発会社で、証券会社のオンラインシステム開発と物流輸送のオンラインシステム開発に従事した。 | |
| 対象学生 | 公務員科1年 | |
| 曜日・時間 | 36コマ 32.4時間 | |
| 授業形態 | コンピュータを使用した実技・演習 | |
| 科目の概要 | ・Windowsベースのコンピュータ操作のスキル向上 | |
| 授業の到達目標 | ・Windowsベースのコンピュータ操作を習得する。 ・Word、Excelの基本的な機能と操作を習得する。 | |
| 授業方法・学習上注意 | ・講義形式により機能や基本的な操作手順を確認する。 ・実技や演習を通して操作方法や手法を習得する。 ・積極的にコンピュータを利用し、学習、進路研究、日々の生活でのツールとする。 | |
| 成績評価の方法と基準 | 終末考査50%、課題提出40%、授業態度等10% | |
| 使用テキスト | 実教出版 30時間でマスター Word&Excel2016 (ISBN 978-4-407-34019-8 950円+税) | |
| 教材・参考文献・図書等 | 実教出版 30時間でマスター Word2016 (ISBN 978-4-407-34020-4 950円+税) 実教出版 30時間でマスター Excel2016 (ISBN 978-4-407-34021-1 950円+税) 実教出版 30時間でマスター Office2016 (ISBN 978-4-407-34018-1 11,000円+税) | |
| 授業計画(内容) | | コマ数 |
| <公文書作成演習> | | |
| ・起動と終了 画面構成の確認 文字の入力 文章の入力 ファイルの保存・読込 | | 4 |
| ・ページ設定 印刷 移動とコピー 文書の作成 | | 4 |
| ・表編集 | | 4 |
| ・Word総合演習 | | 4 |
| <予算書・注文書・見積書作成演習> | | |
| ・起動と終了 画面構成の確認 データ入力 表計算ソフトとは | | 4 |
| ・ワークシートの編集 オートSUM 相対参照 絶対参照 | | 4 |
| ・関数の利用 罫線 行列の操作 グラフ | | 4 |
| ・Excel総合演習 | | 6 |
| <終末考査> | | 2 |
| | 合計 | 36 |
| | 授業時数 | 32.4 |

授業概要

公務員学科

| | | |
|-----------------|--|------|
| 科目名 | 計算実務 | |
| 担当教員 | 岩根英二 | |
| 実務経験 | 民間の学習塾にて校舎責任者を担当し、授業料の計算および徴収、水道光熱費等の各種経費の支払いを行うとともに現金出納帳の記入など経理事務の仕事を経験。 | |
| 対象学生 | 公務員科1年 | |
| 曜日・時間 | 18コマ(16.2時間) | |
| 授業形態 | 講義(30%)、グループ学習(30%)、問題演習(40%) | |
| 科目の概要 | <ul style="list-style-type: none"> ・現金出納帳や売上帳などの帳簿作成。 ・売上利益の計算や借入金の利息計算。 | |
| 授業の到達目標 | <ul style="list-style-type: none"> ・現金出納帳や伝票問題、仕入帳や売上帳を作成することが出来る。 ・売上利益や利息計算が出来る。 | |
| 授業方法・学習上注意 | <ul style="list-style-type: none"> ・講義形式で基礎知識を理解し、活用できるようになる。 ・グループ学習で共同して問題を解決し他者へ説明する。 | |
| 成績評価の方法と基準 | 期末考査50%、確認テスト20%、授業態度等15%、提出物等15% | |
| 使用テキスト | 計算実務3級直前模試 | |
| 教材・参考文献・図書等 | | |
| 授業計画(内容) | | コマ数 |
| 現金出納帳の作成 | | 2 |
| 伝票計算、売上帳、仕入帳の作成 | | 2 |
| 利益計算 | | 2 |
| 利息計算 | | 2 |
| 問題演習 | | 10 |
| | | |
| | 合計 | 18 |
| | 授業時数 | 16.2 |

授業概要

公務員学科

| | | |
|-------------|---|------|
| 科目名 | 商業簿記 | |
| 担当教員 | 岩根英二 | |
| 実務経験 | 民間の学習塾にて校舎責任者を担当し、授業料の計算および徴収、水道光熱費等の各種経費の支払いを行うとともに現金出納帳の記入など経理事務の仕事を経験。 | |
| 対象学生 | 公務員専攻科2年、公務員科1年 | |
| 曜日・時間 | 36コマ(32.4時間) | |
| 授業形態 | 講義(20%)、グループ学習(80%) | |
| 科目の概要 | ・日商簿記検定3級対策授業 | |
| 授業の到達目標 | ・日商簿記検定3級合格。 | |
| 授業方法・学習上注意 | ・講義形式で日商簿記検定3級の概要を理解する。 ・グループ学習で共同して問題を解決し他者へ説明する。 | |
| 成績評価の方法と基準 | 期末考査50%、確認テスト20%、授業態度等15%、提出物等15% | |
| 使用テキスト | オリジナルプリント、日商簿記検定3級過去問題 | |
| 教材・参考文献・図書等 | | |
| 授業計画(内容) | | コマ数 |
| 問別対策 | | 8 |
| 答案練習 | | 28 |
| | | |
| | 合計 | 36 |
| | 授業時数 | 32.4 |

授業概要

公務員学科

| | | |
|------------------------------------|--|------|
| 科目名 | 情報処理技能 | |
| 担当教員 | 桜井 久史 | |
| 実務経験 | 民間のソフト開発会社で、証券会社のオンラインシステム開発と物流輸送のオンラインシステム開発に従事した。 | |
| 対象学生 | 公務員科1年 | |
| 曜日・時間 | 36コマ 32.4時間 | |
| 授業形態 | グループ学習、講義形式の授業 | |
| 科目の概要 | <ul style="list-style-type: none"> ・情報処理の基本的な知識を学ぶ。 ・コンピュータや情報処理の基本的な名称や用語、コンピュータの構造や仕組みを学ぶ。 | |
| 授業の到達目標 | <ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータに必要とされる、ハードウェアとソフトウェアに関する知識について、その概要を把握できることを到達目標にしている。 | |
| 授業方法・学習上注意 | <ul style="list-style-type: none"> ・講義形式により基本的な知識を習得する。 ・グループ学習、問題演習により知識を深める。 ・c-learningを利用した予習・復習を十分に行うこと。 | |
| 成績評価の方法と基準 | 終末考査50%、課題提出40%、授業態度等10% | |
| 使用テキスト | プリント | |
| 教材・参考文献・図書等 | 建帛社 医事コンピュータ技能検定テキスト 改訂 医事コンピュータ関連知識 (ISBN978-4-7679-3725-0 2,500円+税) | |
| 授業計画(内容) | | コマ数 |
| ・コンピュータの種類 | | 2 |
| ・コンピュータの情報 | | 2 |
| ・基数変換 | | 4 |
| ・コンピュータの5大装置と機能(入出力装置・記憶装置・中央処理装置) | | 6 |
| ・コンピュータの5大装置と機能(メモリの種類と特徴) | | 2 |
| ・周辺装置(入力装置) | | 6 |
| ・周辺装置(出力装置) | | 6 |
| ・周辺装置(補助記憶装置) | | 4 |
| ・入出力とインタフェース | | 2 |
| <終末考査> | | 2 |
| | 合計 | 36 |
| | 授業時数 | 32.4 |